

第93回 理事会（平成17年度第3回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成17年7月30日（土）16：00～18：30
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館4階第2研修室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事：（副会長）古郡 敬一、野地 澄雄、山田 隆
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）三塚 康雄、上田 英之、渡辺 三郎、菊地 富士夫、越前谷 芳隆
（理事）柴田 秀一、本田 衛義、徳本 進、岡本 洋一、佐々木 生道、
菊地 勇二、木村 徳善、清水 忠、百海 廷、平沢 幸一、
栗田 謙悟、斎藤 幸雄、吉岡 去私
欠席理事：（会 長）河野 洋平、
（理 事）長久保 巖、川田 光代、
4. 出席監事 井駒 利一、木村 信吉
5. 議長選出 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出 清水 忠理事、栗田 謙悟理事を選出
7. 書 記 徳本 進理事を指名
8. 議 事

1) 決算の承認について

片専務理事より、本日の評議員会で承認いただいた平成16年度の事業報告、決算報告、監査報告を承認したい旨の提案がなされ、出席理事全員により承認された。

片専務理事から評議員会で質問にありました監査指摘を出来るだけ取り入れて事業運営をしていきたいと思えます。また、春季評議員会で決めた事業日程を変更しては駄目だ。会場未定あるいは日程未定はそれで承認していただいているが、SAJ都合で日程等の変更があり得るならばその旨を春季評議員会で「あり得ます。」と一言入れておかないと教育庁から指摘されます。組織運営の手続きは理事会決定すれば良いのではなく、十分注意して運営することの指示があった。

2) 教育本部関係

(1) 報告事項

渡辺本部長より、別紙のとおり下記行事に関する報告がなされ、了承された。

イ) 日赤救急員養成講習会開催

期日：講習会1 7/2（土）、7/3（日） 会場：日赤神奈川支部

講習会2 7/9（土）、7/10（日） 会場： ”

参加者：11名、役員 延べ9名

- ・ 片専務理事より、SAKが開催する意味はあるのか。SAKが主催するのではなく日赤主催で、そこへSAKから講師を送り込むこと。傷対委員会と論議してあるべき姿を検討していくことの指示があった。

ロ) 教育本部会開催

期日：7/21 会場：県社会福祉会館

出席：渡辺本部長、上田セク、菊地、清水、百海各理事

議題：車山 チャレンジカップGSL大会の参加費について

環富士山大会日程について

五竜行事本部宿舍変更（ウルル シェーンバルト）の検討

ハ) 強化委員会オフトレ開催

第1回：6/4 参加8名、役員3名

第2回：7/19 参加18名、役員5名

SAJでのスキー学校の登録締切に対するSAK対応について

上田セクレタリーより、SAJでのスキー学校の登録締切りが本日ですが、これは商業施設のス

ポーツ指導員はS A Kでも何人かいるので、S A Kの対応はどのようにするのかの確認について、片専務理事より県民スキーのみに登録費を払うのは無駄であるので、S A Kとしては登録しないこととするとの報告があった。

3) 競技本部関係

(1) 報告事項

競技本部セミナー の開催

期日：7 / 1 0 会場：県社会福祉会館

参加者：3 9 名 役員：4 名

第3回歩くスキーバスツアーについて

平沢理事より、歩くスキーバスツアーについて旅行会社と打合せを実施した。開催場所は草津スキー場とし、会期は土日の1泊2日で会費は19800円で調整中である。8月5日に最終打合せをして、S A Kツールに載せる状況との報告があり、了承された。

上田本部長より、歩くスキー行事が車山 行事と重複するが、総務本部の「雪とのふれあい事業」もあり、一緒に開催できないかとの質問に対し、草津スキー場はアップダウンのある専用コースがあるので開催を決めたとの回答があった。

(2) 審議事項

夏季ローラー講習会開催場所変更について

平沢理事より、夏季ローラー講習会の開催場所を相模原市から山中湖周遊コースと富士北麓公園に変更するために下見をし、駐車場のこと及び練習コースとして公道を使用することを申請した所、S A Kが責任を持つことで許可を得たので、会場変更する旨の提案がなされ、承認された。

第7回クラブ対抗駅伝大会の開催場所変更について

平沢理事より、「第7回クラブ対抗駅伝大会」の開催場所を、相模原市大島キャンプ場から淵野辺公園に変更したいので、管理事務所に確認をした所、「貸切りは不可であるが一般に迷惑が掛からないのなら許可します。野球大会等で駐車場は満車になることがあるが、別場所にも駐車場があるので使用は可能です。」との回答をいただいたので、会場変更する旨の提案がなされ、承認された。

エントリー代の変更について

菊地本部長より、競技大会のエントリー代は現行一律に一般4000円ですが、未登録者との差を付けた方がよいとのことで、会員4000円、未登録者5000円としたい旨の提案がなされ、野地副会長より、未登録者とは一般スキーヤーを入れて明確に整理して表示することで、承認された。

行事申込み締切り後のエントリー代について

菊地本部長より、行事申込みで締切り後のエントリー代について、電子申込みに限り締切り後1週間のみ受付することの提案がなされ、追加料金については総務本部の審議事項で審議することとし、承認された。

2005～2006シーズンの競技本部IDカード作成について

菊地本部長より、競技本部の役員と専門委員分のIDカードを作成したい。これはスポンサーのロゴ入りで顔写真入りのIDカードを作成する旨の提案がなされ、片専務理事から理事を含めて作成することで承認された。

4) 総務本部関係

(1) 報告事項

慶弔関係について

特になし。

資金運用状況について

岡本理事より、次回報告することで了承された。

登録状況について

柴田理事より、別紙のとおり「平成17年度全国事務担当者会議」が7月15日に開催され、主な項目としては、クロカンバッジテストの公認料変更、保険は「安全会」を「スキー補償制度」に改称、指導員検定会の第4会場「九頭竜」を「スキージャム勝山」に変更等の報告があり、了承された。

個人情報の具体的な運用について

徳本理事より、配布しました資料「個人情報の具体的な運用について」に基き、運用していくことの報告があり、了承された。

電子申込みの展開について

徳本理事より、別紙のとおり「E 決済改め電子申込みの展開」についての報告があり、了承された。主な項目として、名称変更。全行事を対象に申込み可とする。電子申込み後の変更では同一行事での変更可であるが、締切り後1週間以内の変更は有料。申込み後の返金は不可等である。

ウエア委員会のグッズ販売状況及びアイデア募集について

上田本部長より、前年度のグッズ販売では売上の10%の約65000円がSAKに入ることになった。またウエア委員会を8月初旬に開催予定で、SAKグッズのラインナップを調整する。併せてアイデア募集も行うとの報告があり、了承された。

協賛拡大委員会の活動状況について

長久保理事欠席の為上田本部長より、当委員会は前回理事会で承認されたが、具体的には8~9月に常務会を開催して活動する予定とのこと、さらに神奈川トヨタ販売から3万円の協賛を頂いたとの報告があり、了承された。

普及振興委員会の活動状況について

佐々木理事より、7月28日に第1回普及振興委員会を開催し、目的としては参加募集ルート及びチャンネルの開拓と県内の小中学校を対象としてのジュニア雪とのふれあい事業について推進していくための委員会として立ち上げる事を協力していただくことにした。委員長は厚木の青木先生に決まり、副委員長は次回の委員会にて決めるとの報告があり、了承された。さらに上田本部長からは車山 行事を候補として、行事要項を検討し次回報告することとした。

北海道委員会の活動状況について

佐々木理事より、委員会は8月3日に開催予定で、会員向けのPRビデオを作成ことの報告があり、了承された。

財産運用委員会の活動について

上田本部長より、当委員会も今後立ち上げていくが、基本資金及び別途積立金の運用形態を効率よくできるように活動していくとの報告があり、了承された。

指導員会との打合せ報告について

上田本部長より、別紙の配布資料のとおり打合せでの対応事項が決まり、各本部に配慮をお願いする旨の報告があり、了承された。

座間スキー協会の件について

越前谷事務局長より、座間スキー協会のクラブ登録が1クラブとなったが、協会の設立要件はあるが、存続要件はないので協会は継続となる旨の報告があり、了承された。片専務理事より、教育庁にクラブ数が減るとどうなるかを確認した所、「規約上は抵触しない。1協会1クラブになっても存続は認められる。」との報告がなされた。

(2) 審議事項

SAKツール作成スケジュールについて

本田理事より、配布資料のスケジュールのとおり進めます。尚、1週間前出しとなり皆さんに迷惑をお掛けするが対応をお願いします。8月8日に第1回目の原稿締切り、17日が2回目の原稿締切りで、これ以降は目次作成するため原稿の追加不可となる。22日に原稿を印刷所渡し予定です。今回の変更は役員・専門委員の顔写真を入れることにしましたが、掲載不可の方は歯抜けとなるとの報告があり、了承された。

電子申込み拡大及び締切り後の申込み受付の有料化について

徳本理事より、大会申込みは従来通り、事務所受付・FAX・電子申込みで締切り日までに申し込むことが基本ですが、締切り後1週間は電子申込みのみ有料で受付可とします。

その締切り後の申込み受付のペナルティとして、

教育本部行事は、締切り後1週間はペナルティ2000円、さらに救済措置として現地受付も可能とし、ペナルティ3000円を支払うこと。

競技本部行事は、締切り後1週間はペナルティ1000円を支払うこと。

以上のペナルティ料金の提案がなされ、承認された。

野地副会長よりペナルティの表現はよくないので、柔らかい表現にして下さいとの依頼があっ

た。さらに片専務理事より、手続き要項説明会で説明しても全員に伝わらないので、何度も何度も説明すること。トラブルが予測されるので、SAKツールができれば説明会の前にしっかり論議することの指示がなされた。

個人情報に関する各申込み書への共通注記事項について

徳本理事より、別紙配布資料に基づきSAKツールへの記載文章について、

各種申込み書等への個人情報利用目的の記載、

雪不足による大会中止の場合の返金額、

SAK公式掲示の件、

広報活動用に取材した画像等の使用目的の記載

以上をSAKツールに記載する旨の提案がなされ、一部の文章を修正することで承認された。

ハンディキャップセミナー開催及び指導者雪上研修について

越前谷事務局長より、HC委員会が3年間ボランティアで手伝っていただいた方の意見も取り入れて、障害者支援するのに経験がない部分が多いので、講習会を開催することにした。開催要項は配布資料の通りで、第1回目は10月30日午後1時より理論講習を行い、第2回目は1月13日(金)雪上での指導実践を行う予定で、講師はどちらも外部招聘指導者を予定している。費用は参加者負担とし、HC委員会行事として開催したい旨の提案がなされ、予算内で実施することで承認された。さらに片専務理事より、PSA(プレジャーポイント協会)とHC委員会の事業活動内容を整理すること。またHC委員会を立ち上げた目的は、障害者がスキーというスポーツ競技に参加して楽しんでもらうことであり、障害者活動を支援する団体ではないので、きちんと明確にしてほしいとの指示があった。

事務局在局日の変更について

岡本理事より、7月及び8月の土曜日の在局日を閉鎖して経費を削減する。効果としては、約4万円(7~8月、交通費除く)が削減できる旨の提案がなされ、承認された。

次回の理事会開催について

上田本部長より、次回の理事会は9月5日(月)予定だが、SAK要項説明会が9月3日(土)開催のため、同日の9時~11時で開催する旨の提案がなされ、承認された。

5) その他

岡本理事よりコメント

各理事にお願いですが、行事での出金は予算科目で出金するようにしてください。さらに片専務理事より監事指摘の報告書は早めに提出することの指示があった。

井駒監事よりコメント

監査報告の第3項については、実施するかしないかは特にないが1年かけて来年度の事業に取り入れてください。また、行事報告書はNOを付ける新しいやり方であり、報告書を早く提出すれば、予算作成時に呈示できるので早めの処理を宜しく願いしますとの要望がなされた。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成17年 8月 5日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印